

## 千葉県支部第10回見学会「NHK千葉放送会館」訪問記 “アナウンサー気分になって”

昨年は10周年記念として特別見学会「筑波サイエスタウン」を訪問したため、今年の見学先は身近な施設として「NHK千葉放送会館」が選ばれた。

この会館は昨年12月に新装オープンした施設で1.「地域に開かれた」、2.「災害に強い」、3.「環境にやさしい」をコンセプトとして建築された3階建ての建物である。

11月7日(水)秋晴れの晴天の中、午後1時半集合に合せて三々五々と会館ロビーに集まった参加者は一般参加者を含めて総勢15名であった。

当日の午後は折しも米国大統領選挙の開票日に当たり、1階ハートプラザにある103インチの大画面モニターで実況中継が放映されていて、集合時間前に集まった参加者が見学開始時間まで開票速報を楽しみ、オバマ大統領の再選確実となり勝利宣言が行われたのがちょうど見学開始時間直前であった。

見学開始に当たってNHK職員による放送会館の概要紹介の後、第一のコンセプトの中心となるハートプラザでは、先の103インチ大型モニター放映、NHKオンデマンドの無料体験コーナー、地元千葉名産の落花生をモチーフとした“ラッカ星人ゲーム”等、来館者歓迎施設を見る。参加者の内の一人が代表となりラッカ星人ゲームに挑戦、童心に返ってゲームを楽しむ。

次に屋上へ上がり放送局として当然のパラボラアンテナ塔の性能を聞く。塔の脚周りには災害対応の貯



ハートプラザで

水施設、ディーゼルタンクが設置されていて停電時には非常用発電機で72時間の放送が継続できる由(コンセプト2)。更に、出力7.5kWのソーラー発電設備(コンセプト3)、防犯カメラ設備等を見学し千葉市街の眺望を楽しむ。

3階から2階への途中で1階から3階まで一直線に繋がる大階段室で間伐材を使用した木製外装(コンセプト3)の説明を受けてから2階に移り放送局の心臓部へ入る。

放送調整室ではずらりと並んだ最新鋭の放送管制機器を見学。ここでは、千葉県内にある8台ほどのNHKの拠点カメラの制御もしているという。

その後ニュース放映用スタジオへ移動。数多くのフラッドライトで明るく照明されたアナウンサー席に座り正面に設置された3台のカメラとモニターに向かい合うと、ちょっとしたアナウンサー気分。

LED照明による省エネ(コンセプト3)やアナウンサー席の真上に設置された天井カメラで机上のニュース原稿を撮影した映像を正面カメラのモニター上に表示しアナウンサーが正面を向いたままニュースを読み上げられ、放送できる仕組みを紹介してもらう。

スタジオを後に1階へ降り、ビルの中心部近くに設けられた光庭と呼ばれる中庭と屋上まで続く吹き抜けを見る。自然採光と東京湾側から吹く涼しい外気導入による自然換気・冷房システム(コンセプト3)ということである。



放送調整室



スタジオ

更に、地階へ移動し免震設備（コンセプト2）を見学する。全ての柱と基礎の間に免震ゴムが挿入され、地下の配管や配線棚が天井から吊られ基礎から切り離されていて耐震対応されているのを見る。

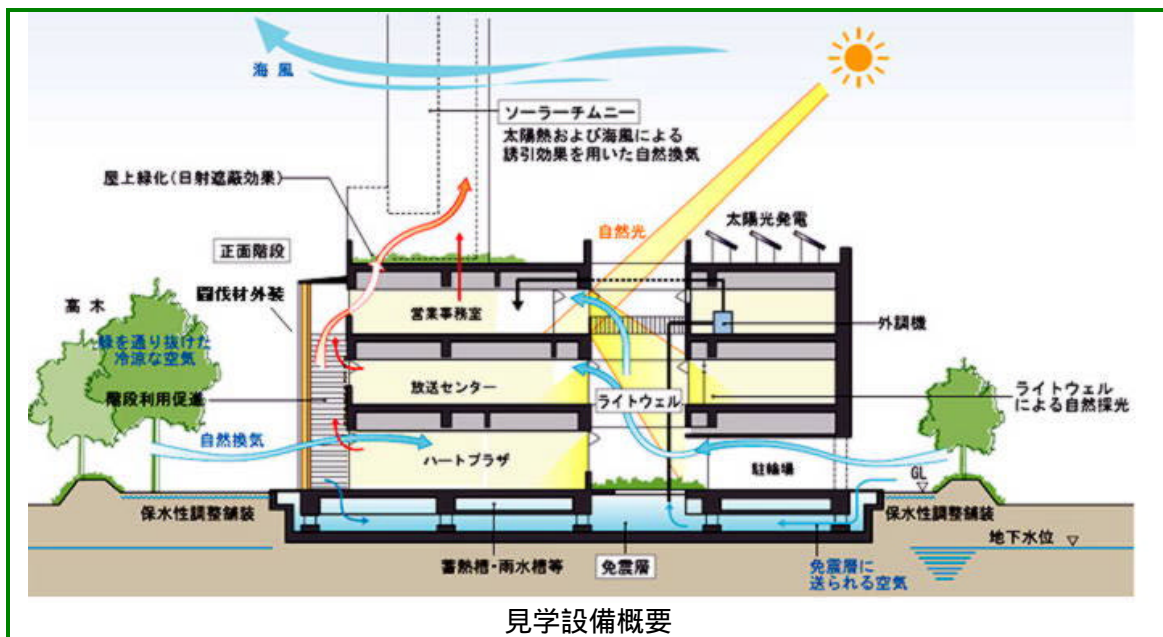
この会館は埋立地に建てられているため震災時にも放送継続できるよう耐震以外にも液状化対策にも充分な配慮がなされているという。

津波に対してはどうかとの参加者からの問いに1階は駄目だが、放送設備は全て2階以上に設置されているので放送は可能とのこと。

地方局のこととて、ごちんまりと纏まった施設であったがおおよそ1時間半の見学時間を有意義に過ごした。



床下免震装置



見学設備概要



第10回千葉県支部見学会 NHK千葉放送会館 2012 11 07





見学会終了後、希望者を募りJR千葉駅西口近くの和食居酒屋へ移動し恒例の懇親会を行い今年の見学会の打ち上げとなった。

記 久保田 昇(40E)